

令和7年度 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金（施策推進公募型）テーマⅥ地域における多職種連携による相談支援モデルの開発一覧

受付ID	団体名	主な活動地域	事業名	実施期間 始まり	実施期間 終わり	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成決定額
64	一般社団法人 Re-Start Project	池田市、箕面市、豊中市、吹田市	Beyond Boundaries：領域を超えた（ダイナミックな）地域福祉実践の生成発展に向けた代表者ネットワーク	R7.4.1	R8.3.31	豊中市（事務局所在地）	<p><ネットワーク構築先> 地域で活動実績があり、住民に支持されている福祉実践諸団体のリーダーとその活動</p> <p><事業対象者> 上記団体のサービスの提供者（ボランティアスタッフ）と利用者</p>	<p>異なった領域で活動している地域団体をホリゾンタルに相互ネットワーク化し、地域団体のリーダーたちを福祉課題領域を超えてつなげ、お互いの実践に相互参与することで、領域を超えた連携機能を創造していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 池田市・箕面市・豊中市・吹田市を中心に活動する7団体の代表で「北摂地域で活動する有志の会」結成し、その拡張（メンバー団体の増加）と充実（活動内容の深化）を図る。 お互いの地域実践に積極的に参加・交流し、支援に係る互いの専門知識と実践方法や、人的ネットワークを交換・充実させる。 外部専門家や当事者を講師として派遣し、活動に新たな学びの機会を提供する。 市民向け地域の社会福祉課題や支援活動の実態を広報・啓蒙する機会を企画し、実施する。 活動領域の枠を超えてメンバー団体の活動に互いに参与したことで得た知見について、行政機関職員、市議会議員と意見交換を持ち、民官共同の新たな連携に関する「活動の手引き」を作成 	3,917,000
93	特定非営利活動法人あとからゆっくり	大東市	四条北・深野地区における、相談支援ネットワーク構築モデル事業	R7.4.1	R8.3.31	大東市	<p><相談支援ネットワークに関わる連携・協働先></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民、地域役員（自治会、民生委員、校区福祉委員） 行政各担当課、包括支援センター、保健所、基幹相談支援センター、エリアCSW、学校関係者（SSW、教員、支援員）、保育園 有志団体、企業 等 	<ul style="list-style-type: none"> 四条北、深野地区において複合化・複雑化した課題を抱えるケースに対し、様々な専門性をもつ支援者チームをつくる。 「支援者交流会」の認知度が上がり団体としての利用が進むことで、地域役員、専門職の孤立・課題の抱え込みを防ぐ。 <p>モデル実施にあたっての環境整備 モデル事業担当職員が在駐できる事務所、及び個別の相談に対応するための相談室の設置 支援者交流会の定期開催 モデル事業の推進員を1名配置し、ケースSVができる体制にする 手引書作成に向けて 実践の言語化や、手引きへの落とし込みのため学識経験者等に参画してもらい、実践の検証・整理を行う 研修 地域役員を対象に、年3回に開催し、ニーズの吸い上げや地域の専門職と地域住民、役員との顔合わせや交流等を実施する。</p>	3,850,000
94	特定非営利活動法人ここから100	大阪市淀川区	地域住民の多世代交流を通して行う地域生活支援事業	R7.4.1	R8.3.31	大阪市淀川区	地域住民 多世代 こどもから高齢者	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂 多世代・多国籍交流事業 「ここコミュこども食堂」および連携支援体制について～子ども・高齢者・多様な家庭のための多世代型支援モデル～ <p>地域に暮らす子どもたちを中心に、多世代・多文化共生の居場所づくりを目指し、地域団体・企業とも連携し、「ここコミュこども食堂（朝ごはん）」「ここから100こども食堂（ランチ）」を毎月開催。子どもを中心としながらも多世代が共に支え合う地域づくりを推進し、「誰ひとり取り残さない」持続可能な支援の仕組み強化に取組む。</p> <p>元教員や専門職による学習支援「宿題カフェ」：食と学びを通じて継続的な地域支援を実施 専門職による相談対応：外国籍の親子、高齢者のおひとり様、要介護者、障がいのある方、生活困窮世帯、不登校のこどもたち、シングルマザー家庭など、複合的な支援ニーズを抱える方々が安心して利用できる場を提供（必要に応じて行政・関係機関と連携し、迅速な支援・制度への接続を行う）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災意識の向上事業 多世代交流と地域支援を推進する子ども食堂・防災カフェ事業の拡充について <p>「子ども食堂」の開催頻度を月2回へと拡充。子ども食堂開催後に、多世代がつながる「防災カフェ」（1月・3月・9月・10月の年4回）を設け、食を通じた交流とともに、地域住民の防災意識を高める機会とし、地域の担い手（防災リーダー・見守り人材）を養成。開催頻度を増やし内容の充実を図ることで、地域のつながりを再構築。さらに、地域で生活支援を行う専門職ネットワークを形成。</p> <p>対象：高齢者、おひとり様、ひとり親家庭、生活困窮者、障がい者、不登校のこどもたちなど、多様な課題を抱える方々</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援・居住者支援 <p>地域における高齢者のおひとり様世帯や、ひとり親家庭をはじめとする孤独・孤立リスクを抱える方々に対し包括的な生活支援・居住支援を行うべく、多職種連携による事業を展開。</p> <p><つながりサポーターの養成> ゴミ屋敷化の防止、認知症やフレイルの予防、暮らしやすい住環境の整備を目的として、「清掃マイスター」や「生前整理（もの・心・情報）」に関する知識を学ぶ機会とする。「写真整理」や「片付けの基本」など、実生活に即した内容の講座、「防災と収納」をテーマにした講座では、災害時に備える住環境の整備について学ぶ。「情報の整理」に関しては、行政書士・司法書士・弁護士と連携し、法的手続きや終活支援、リスク回避に関する実務的なアドバイスも行う。これらの内容を体系化し、支援の質を高めるための実践マニュアルを作成。</p> <p>https://cocokara100.com/</p>	3,832,000
交付決定団体【計3件】									11,599,000